# AMD－USB－RS232C－CW－SOUND　Ver1取扱説明書

1．　概要

USB接続で、2チャンネルのRS232C変換ICのFTDI社製FT2232Dを使用した、アマチュア無線用のRS232Cレベルのリグコントロール、AFSKとFSKのデジタルモード、KEY出力が可能なインターフェースです。

1チャンネル目には、リグコントロール、2チャンネル目には、デジタルモード用
出力（RTS＝PTT、FSK＝TXD）、KEY出力（DTR＝KEY）に割り付けています。

パソコンのマイク入力から受信し、AFSKモードの場合、パソコンのスピーカ出力から、変調用出力を送出します。

2．　USBドライバのインストール方法

FTDI社のインストールガイドによると、Windows　VISTA、7、8、8．1、10の場合は、インターネットが接続された状態で、USBポートに接続すれば、自動的にUSBドライバがインストールされるとのことです。

インストールガイドは、下記より、ダウンロード可能です。正常にインストールされなかった場合のトラブルシューティングの記載もあります。

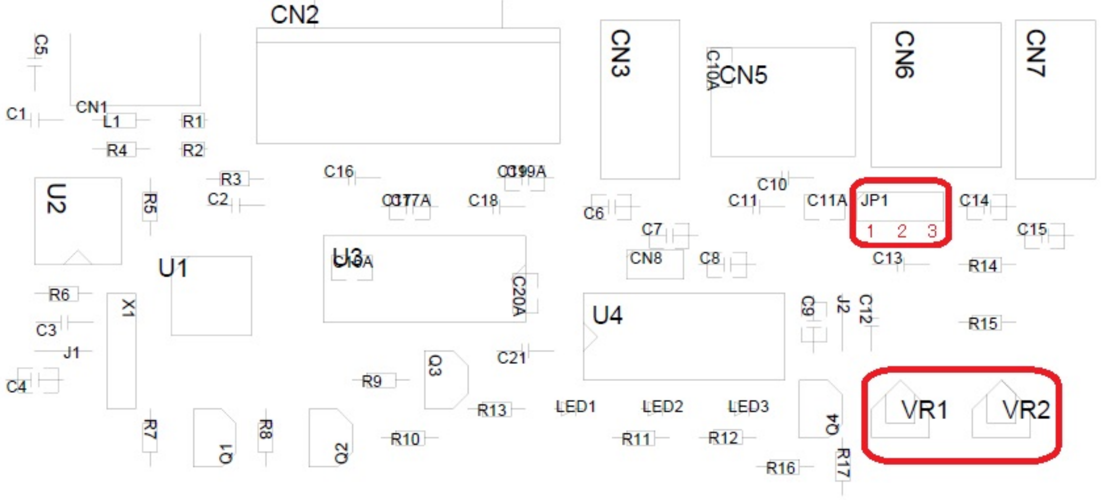
https://ftdichip.com/document/installation-guides/

英文ですので、必要であれば、Google 翻訳等で、翻訳をお願いいたします。

また、USBドライバ（VCPドライバ）は、下記からダウンロード可能です。

https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/

3．　リグコントロールジャック（CAT）の接続、設定ピン(JP1、ボリューム(VR1,VR2)の設定



| ﾒｰｶ | 無線機の型名 | ﾘｸﾞ側ｹｰﾌﾞﾙｺﾈｸﾀ | 接続 | JP1 |
|---|---|---|---|---|
| YAESU | FT-1000MP(MarkV,Fiield),FT-2000,<br>FTDX5000,FTDX9000 | DSUB9P ﾒｽ | ｽﾄﾚｰﾄ | 1-2 |
| YAESU | FT-450,FT-950,FT-1200,FT-3000 | DSUB9P ﾒｽ | ｽﾄﾚｰﾄ | 2-3 |
| YAESU | FT-920 | DSUB9P ｵｽ | ｽﾄﾚｰﾄ | 1-2 |
| YAESU | FT-847 | DSUB9P ﾒｽ | ｸﾛｽ | 1-2 |
| KENWOOD | TS-480/570/590/870/2000 | DSUB9P ﾒｽ | ｽﾄﾚｰﾄ | 1-2 |

ボリュームは、VR1がAFSKモードでの、音声出力（送信）レベルの調整、VR2が音声入力（受信）レベルの調整用です。

４．パソコン、無線機との接続

コネクタは、左から、

CN7（モノラルミニジャック）：MIC（パソコンのマイク入力との接続用）

CN6（ステレオミニジャック）：SP（パソコンのスピーカ出力との接続用）

CN5（ミニDIN6ピンジャック：ACC（無線機のアクセサリ端子等の接続用）

１番ピンはMOD（変調出力）で、無線機の変調入力（AF　IN）に接続します。

２番ピンはGND（0V）で、無線機のGND（0V）と接続します。

３番ピンはPTT（PTT出力）で、無線機のPTT入力（PTT）と接続します。

４番ピンは、設定ピン JP1 を 2-3 側に設定するとFSK出力となります。
無線機のFSK入力と接続します。

５番ピンは変調入力（RCV）で、無線機の変調出力（AF　OUT）と接続します。

６番ピンは、設定ピン JP1 を 1-2 側に設定するとFSK出力となります。
無線機のFSK入力と接続します。

CN3（モノラルミニジャック）：KEY（CW用無線機のKEY入力端子との接続用）

CN2（ステレオミニジャック）：CAT（無線機のリグコントロール端子との接続用）

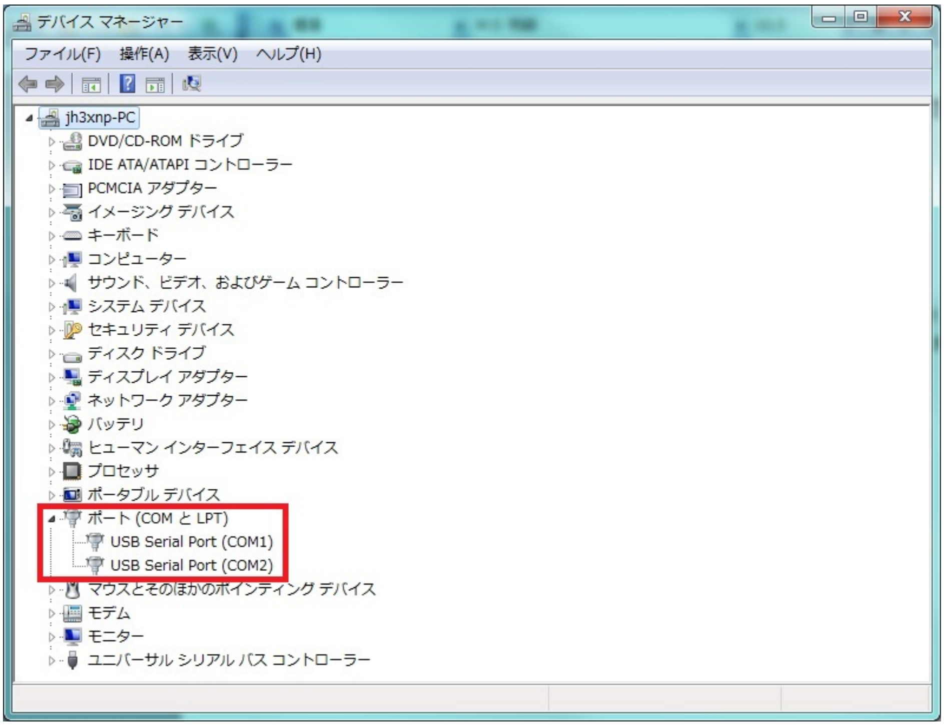
接続方法は、3章をご参照ください。

CN1（USBジャック）：USB（パソコンのUSBコネクタとの接続用）

5.　本装置が割り付けられているCOMポート番号の確認

パソコンの「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャ」を開きます。

ポート（COMとLPT）の左の三角矢印をクリックすると、COMポートが2つ表示されます。本例の場合チャンネル1がCOM1に、チャンネル2がCOM2に割り付けられています。




6.　リグコントロールの設定

（1）ご使用になるアプリケーションソフトウェアのCOMポートの設定で、無線機の型名と、デバイスマネージャで本機が割り付けられた1チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。（上記の場合COM1）

7.　MMTTYの設定方法

（1）JE3HHT局のホームページ http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmtty/index.html から、MMTTYおよび EXTFSK Sample (extfsk106.zip)をダウンロードしてください。

（2）MMTTYを、パソコンにインストールしてください。

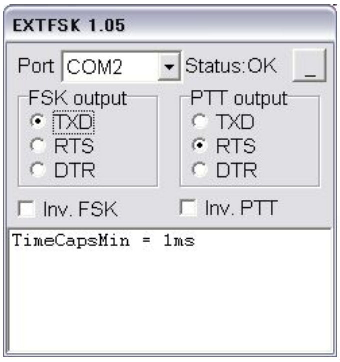
（3）extfsk106.zip を、MMTTYの入っているフォルダに解凍します。

（4）MMTTYを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートをEXTFSKに設定しOKをクリックします。

（5）すると、下記画面が立ち上がりますので、デバイスマネージャで本機が割り付けられた

2チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。（下記の場合COM2）

また、FSK output をTXDに、PTT output をRTSに設定します。




（6）FSK出力を行うには、 オプション→設定画面→その他を選択すると下記画面となります

ので、送信ポートをサウンド＋COM-TxD(FSK)に設定しOKをクリックします。

以上で本装置に関するMMTTYの設定は、完了です。

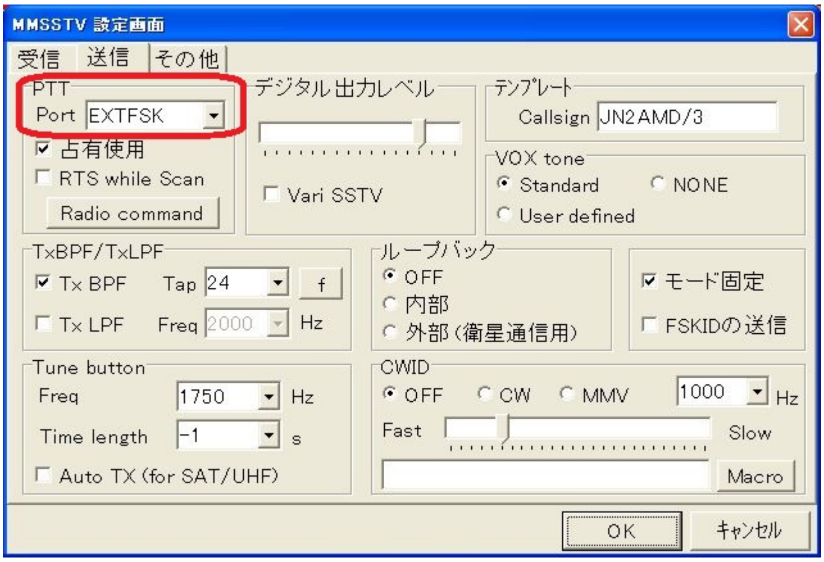
8. MMSSTVの設定方法

（1）JE3HHT局のホームページ http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmsstv/index.html から、MMSSTVおよび EXTFSK Sample (extfsk106.zip)をダウンロードしてください。

（2）MMSSTVを、パソコンにインストールしてください。

（3）extfsk106.zip を、MMSSTVの入っているフォルダに解凍します。

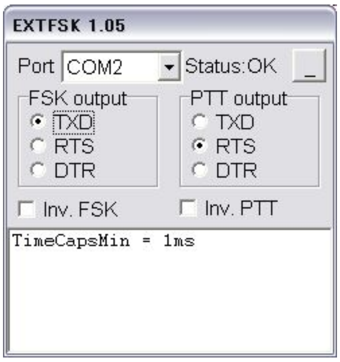
（4）MMSSTVを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートをEXTFSKに設定しOKをクリックします。




（5）すると、下記画面が立ち上がりますので、デバイスマネージャで本機が割り付けられた2チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。

（下記の場合COM2）

また、FSK output をTXDに、PTT output をRTSに設定します。




以上で、本装置に関するMMSSTVの設定は、完了です。

9.　FT8（WSJTーX、JTDX）での設定方法

　CATコントロールが、COM3に、PTT制御がCOM4に割り付けられている場合の設定方法を示します。

WSJTーXまたは、JTDXを起動します。

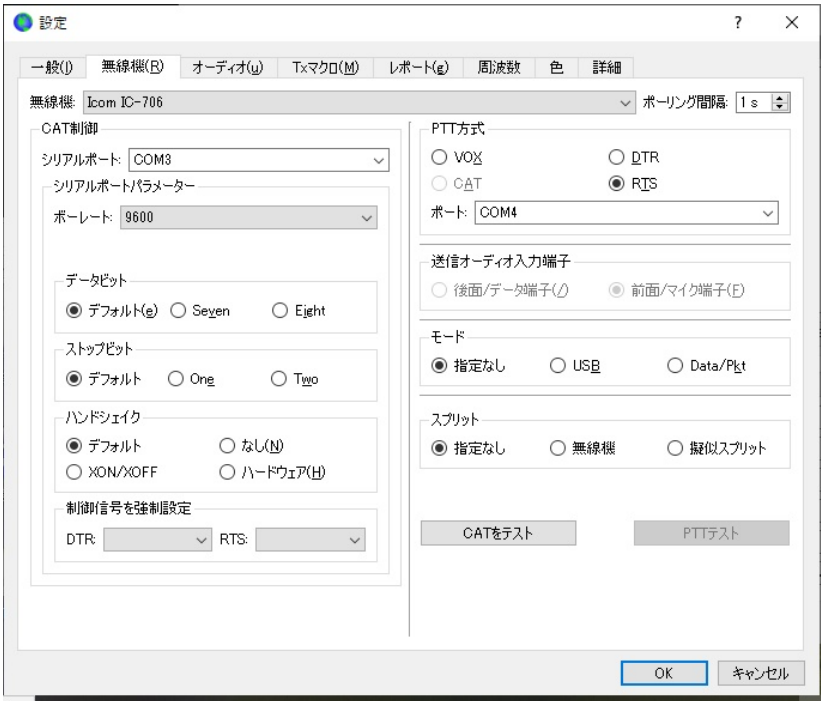
ファイル(FIle)→設定(Settings)→無線機（Radio)を選択すると下記画面となります。

Rig の欄で、無線機の型名を選定します。（本例では、Icom IC−706）

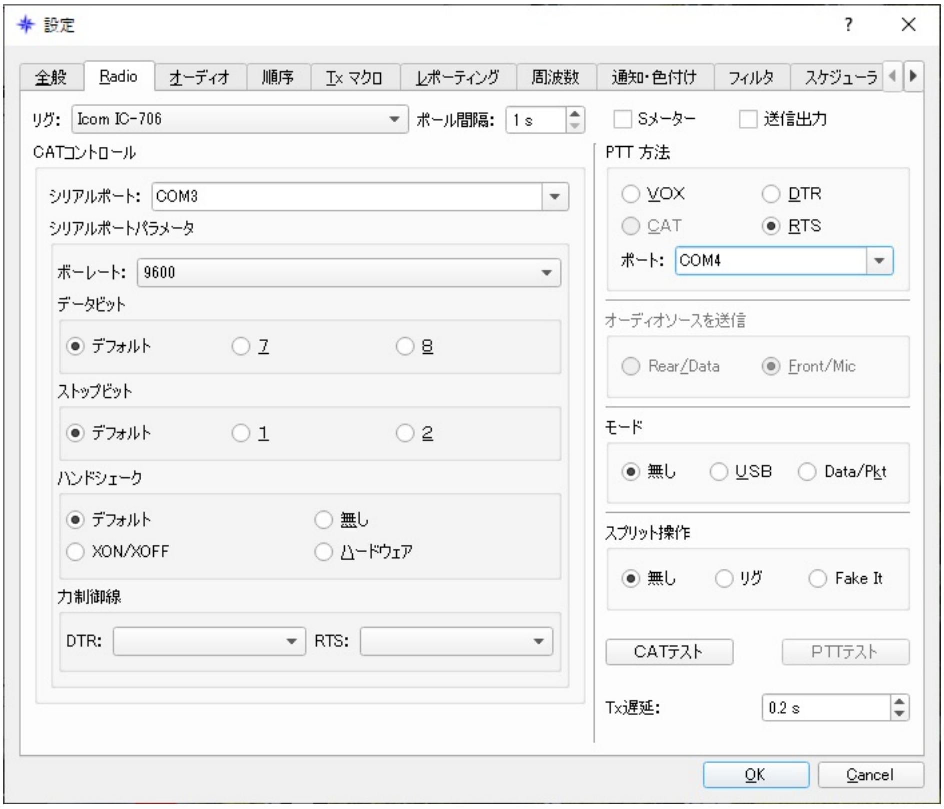
CAT Control の Serial Port の欄で、1 つ目の COM ポート番号を設定します。（本例では、COM3）

PTT Method で、RTS を選択し,Port 欄に 2 つ目の COM ポート番号を設定します。（本例では、COM4）

WSJTーXでの設定画面は、下記です。




JTDXでの設定画面は、下記です。




下部の OK ボタンを押して、本インターフェースに関する設定は終了です。

以上